

**事業所名** グループホームいやしの家備前  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成17年 3月 3日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 介護支援専門員  
資格・経験 介護支援専門員、介護福祉士、老人福祉施設  
B:現職 元介護療養型病棟看護師  
資格・経験 看護師、介護支援専門員

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

○備前焼の里、伊部駅より徒歩10分の場所で、周りを見渡せば緑の山々が望め自然を肌で感じられる所にホームがある。法人代表者の地元でもあるのでこの周辺の入居者が多く、地域密着型のグループホームとして地域の方との交流も深く協力が得られとても開放的である。調査当日にも、面会の家族が皆さんと一緒に昼食を食べておられ、和やかで自然な感じがした。

○『いやしの家』として現在岡山市と備前市に3カ所のグループホームを展開している。それぞれのホームが向上心を持ち、情報の交換や勉強会、入居者同士の交流などを活発にしている。数の多さがメリットになっている良い例だと感じた。

○職員は単に大事にお世話するのではなく、生活のパートナーとして持てる力を発揮してもらい、可能な範囲で家事や趣味を楽しめるよう自立支援を考えている。

○インテリアは幼稚過ぎることなく、しかも華美でもなく、廊下の飾り棚や出窓の所々にさりげなく備前焼を置いたり、壁には適度に絵を掛けていて、落ち着けると同時に地元『伊部』を感じることができる。

○『入居者の楽しみの一つであるから・・・』と、食事には特に力を入れていて料理教室で教えていた経験もある社長の親族が、ボランティアで献立や調理方法をアドバイスしてくれている。見た目も味も栄養面でもとても良いと思えた。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**

特になし

しいてあげるとすれば、家族同士の交流促進と家族からの意見の汲み取りやすさなどの点から家族の会の開催があればより良いのではないのでしょうか。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
<b>記述項目</b>	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“明るく優しくをモットーに”を職員全員の合言葉とし、入居者の自立支援を目標にして、明るく楽しいホーム作りをめざしている。</li> <li>・基本的な人権の保護、家庭的な生活、生きがいのある生活を目標に「入居者」「介護者」と区別した考えではなく「家族(生活のパートナー)」として毎日一緒に暮らして行くんだ」という思いで入居者に接するように心がけている。</li> <li>・楽しみの一つである食事(栄養面)には特に気を配り、そのことによって体調が良くなり生活も安定して家族にも喜んでもらっている。</li> <li>・個人にあった生活のリズムを大切に、何でもかんでも介助するのではなく自立支援することで、できるだけ今までの生活スタイルを続けていけるよう取り組んでいる。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
<b>記述項目</b>	<b>入居者が暮らしている生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関から外に出た所が日当たりも良く少し広がっている。そこに椅子を数脚置いてあり、入居者は好きな時に談笑したり、休憩したり、日向ぼっこをしたりできる。その側をリハビリがてら歩いている人もおられ、入居者が自由に出入りして、とても開放的だと感じた。建物の中から外が良く見えるため、職員の目は届き安全面も心配がないようだった。</li> <li>・家族、友人、知人、ボランティアなど毎日誰かが来てくれるので一緒に何かをしながら楽しんで生活ができています。自分の力を活かしながら役割を持ち、誇りとゆとりを持って暮らすことができるよう支えている。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	癌薬の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
<b>記述項目</b>	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の入居者が多いこともあり、個人情報(本人・家族とも)には立ち入らないように、外部に漏れないように特に気をつけている。その事は職員採用時に説明して承諾書ももらっている。</li> <li>・居室でのプライベートな時間は大切に、あまり干渉しないようにしている。</li> <li>・入居者のしたい事や好きな事は、できるだけ楽しみながらしていただける様に援助をしている。(日向ぼっこをしながら話をする、リハビリのため歩く、貼り絵をするなど)</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
<b>記述項目</b>	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護事故は小さなことでもインシデント・ヒヤリハット事例として入居者の声も含めて報告し、事故後の処置や改善・防止策を検討する資料としており、職員全体で対策を考え、サービスの質の向上に努力している。</li> <li>・いろんな面で入居者の声をしっかり受け止め、その声を大事にして対応することを心掛けている。</li> <li>・自宅が近い入居者が多いうえに出入りを自由にしているので、帰宅願望による外出もあるため常に職員は気を付けて外に目を配っている。</li> <li>・職員は常に適切な対応かを振り返ってみるようにし、反省を次につなげる努力をしている。</li> </ul>		